



愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高校
愛知工業大学附属中学校

目次:

| | |
|---------|---|
| 年頭のあいさつ | 2 |
| 単位互換など | 3 |
| 資格取得講座 | 4 |
| スポーツ情報 | 5 |
| 研究開発 | 6 |

発行所
名古屋電気学園
〒470-0392
豊田市八草町八千草1247
TEL (0565) 48-8711

大学全入・少子化……教職員全員が危機意識持つて乗り切ろう 「厳しい時代」への自覚求める 理事長、学長が年頭のあいさつ

二〇〇七年仕事始めの一月六日、後藤淳学園理事長と後藤泰之愛知工業大学学長が恒例の「年頭のあいさつ」を行い、大学全入時代や少子化など、私学経営が厳しさを増す中「教職員は危機意識を持って知恵を出し合い、的確な取り組みで学園・大学を将来あるもの

代の自覚を求めました。後藤理事長は午前九時から中学・高校の合同職員会議、午前九時三十分から学園職員、また午前十一時からは大学教職員に訓示。後藤学長も大学で理事

長に続いて教職員に年頭のあいさつをしました。あいさつでは理事長、学長とも私学経営、特に大学の厳しい現状に触れ、「全入時代」を乗り切るために入試制度の改革を進めるとともに、学部・学科の再編や高大連携の推進などにより、学びたい学生を確保するための取り組みを積極的に展開する必要性を強調。そのための教職員の協力と自覚、さらなる努力を要請しました。(「年頭のあいさつ」詳細は2面に)



後藤理事長の「年頭のあいさつ」を聞く学園職員

新本部棟が完成しオープンセレモニー

学園と大学の組織一本化を目指し、豊田市八草町の大学キャンパス・テニスコート西側に建設されていた新「本部棟」が完成、一月二十四日午前十時から一階エントランス前でテープカットなどのオープンセレモニーが行なわれました。

に完了、翌十三日から通常業務が始まっています。本部棟一階は学園本部総務課・人事課、総合企画本部、それに大学事務局総務課、二階は学園の管理部と財務部で、三階は理事長室、学長室、副学長室、事務局長室、会議室などとなっています。

式典では、後藤淳理事長が組織統合など本部棟建設の狙いや建設の経緯を説明したあと、後藤理事長、後藤泰之学長らがテープカットして完成を祝いました。学園本部と大学総務課の引越し作業は二月十二日



①テープカットする後藤理事長(中央)と後藤学長(右) ②完成した本部棟



遺影の前で記念写真

鳥居名電高教諭に 後藤鉦二賞を授与

故後藤鉦二前理事長の功績を讃え、学園の発展や教育・スポーツなどの振興に寄与した教職員らを顕彰する「後藤鉦二賞」の授賞式が命日の一月二十二日、学園本部棟五階会議室で行なわれました。平成十八年度の受賞者は愛工大名電高校の鳥居一平教諭(48)で、後藤淳理事長から賞状などが贈られました。

授賞式ではまず、後藤理事長が鳥居教諭の経歴などを詳しく紹介したあと、連日遅くまで生徒たちを熱心に指導し、デザイン選手権で文部科学大臣賞、パソコンコンクールでグランプリを獲得するなど、「ITの名電」の名を全国にとどろかせた業績を讃えました。鳥居教諭は「皆さんの協力があってできたこと」などと謝辞を述べたあと、前理事長の遺影前で記念写真に収まりました。



愛知工業大学
後藤 泰之・学長

理事長「全員で学園の未来像描け」 学長「改革の推進は待ったなし」



名古屋電気学園
後藤 淳・理事長

皆さん、明けましておめでとうございます。正月はいいお天気続きで、ことしはこんな感じで進むといいなあと思っています。仕事始めは一転、雨に変わり「厳しい年明け」を実感しています。学園本部が豊田市の大学キャンパスへ移転するのは、大学を中心に据えて学園全体を考えたためです。当面、学園・大学の二つの事務局で仕事をしますが、四月には一つの組織に統合されることになっています。

ことしは、大学の「二〇〇七年問題」、いわゆる「全入時代」とともに向かい合うという、大変な時代が待ち受けています。若い人たちの理工学部離れと少子化傾向の中で、学生を安定的に確保するにはどう取り組むかが重要な課題です。名古屋電気学園には大学、専門学校、高校、中学があり、校名の頭にすべて「愛知工業大学」をつけたのは、学園の教育は、最後はすべて大学に収斂（しゅうれん）するという方針でやってきたからです。中高一貫教育、高大連携などはすべて、高校から大学へ進む際、対応する学部関係で何を教えるか、生徒が興味を持つことは何か、などを正しく理解することが目的です。大変な時代を乗り切るためには、「こういうことは上の方で考えるからいいよ」ではなく、皆さんの若い力、情報をもとに「こんな方がいいじゃないか」「こうしたいこう」など、学園の将来像を皆さんで描き出していくことが重要です。あのトヨタ自動車は、すべて計算通りに三日間で引越しを完了していきことが重要でした。学園職員も、本部移転だけでなく、学園の将来についても知恵を出し、しっかりと計画を立てて取り組んでほしい。学生・生徒諸君が若い活力をどんどん発散できるように、また元気で活動や語らいができる雰囲気をつくるのが、今後の課題だと思っていますので、皆さんの努力に期待しています。

皆さん、明けましておめでとうございます。本学を取り巻く状況がことしのお正月のように穏やかであればいいのですが、ご承知のように非常に厳しく、学生を安定的に確保するのは段々困難な状況になっています。このため昨年十一月に入試本部を設置し、入試に関する抜本的な取り組みを進めています。十九年度入試はすでに始まっていますので二十年度に向け、優秀な学生をスムーズに集めるための方策を検討していきます。また大学院の充実と院生の増加、これは是非ことし実現させたいと思います。名電高校との七カ年一貫教育もスタートしますが、ことしは犬山高校と行なっているような高大連携をもっと積極的に拡大していく計画です。工学やビジネス、情報というものに興味を持つ生徒を受け入れ、立派に育てて送り出すのが本学の使命でもありますので、新年度から工業、商業高校などを回り連携のお話を進めたいと考えています。先生方のご理解、ご協力をよろしく願います。

教育に関しては、「学力の二極化」に対応するため、分かりやすい授業、興味を持ちやすい授業、学びやすい制度という取り組みを続けてきました。今後は、社会の状況やニーズ、社会に出て実践的に活躍できる学生を育てる…こうした実態に即したカリキュラムを検討していかなければなりません。また社会の状況や受験生の動向などをよく検討して学科・専攻を再編し、二十一年度には工学部と、情報科学部・経営学部（いずれも仮称）の三学部体制にする準備を進めています。大学改革を進めていく上で、現状はまさに「待ったなし」だといえるでしょう。教職員が力をあわせ、様々な取り組みを、積極的に進めなければ、この状況は乗り切れません。元気のある愛工大を取り戻すために、ますますのご協力をよろしく願います。

設置校の卒業・入学式日程決まる 名古屋電気学園と姉妹学園・愛和学園は、各設置校の平成18年度卒業（園）式と平成19年度入学（園）式の日程・会場を下表のように決定しました。卒業式は3月1日の愛工大名電高校が例年通り一番早く、最終は3月23日の愛工大。また入学式は、4月2日の愛工大がトップで、10日までほぼ1週間にわたって順次開催されます。

| | 設置校 | 卒業（園）式 | 入学（園）式 |
|---------|------|---------------------------|---------------------------|
| 名古屋電気学園 | 大学 | 3月23日（金）午前10時 会場・鉦徳館 | 4月2日（月）午前10時 会場・鉦徳館 |
| | 専門学校 | 3月15日（木）午前10時 会場・4階大教室 | 4月9日（月）午前10時 会場・4階大教室 |
| | 高校 | 3月1日（木）午前9時 会場・喬徳館 | 4月6日（金）午前9時 会場・喬徳館 |
| | 中学 | 3月16日（金）午前10時 会場・愛名館 | 4月6日（金）午前10時 会場・愛名館 |
| 愛和学園 | 専門学校 | 3月16日（金）午前10時 会場・4階製図室 | 4月10日（火）午前10時 会場・4階製図室 |
| | 幼稚園 | 3月17日（土）午前10時 会場・遊戯室 | 4月7日（土）午前10時 会場・遊戯室 |

「助教授」と呼称変更を四月から
学校教育法の一部改正に合わせ、愛工大も四月一日から従来の「助教授」の呼称を、「准教授」と変更することにしました。教授、講師の名称変更はありません。中央教育審議会の「大学の教員組織の在り方に関する検討委員会」が平成十六年十一月に「准教授」ポスト新設を柱とする改革案をまとめ、文部科学省がこれを受けて学校教育法の一部改正したことに伴う措置で、愛工大も「教員選考に関する規程」の一部改訂しました。助教授の職務規程が実態にそぐわない上、名称が国際的に通用していないというのが、中教審の「准教授」ポスト新設の理由です。

月に「准教授」ポスト新設を柱とする改革案をまとめ、文部科学省がこれを受けて学校教育法の一部改正したことに伴う措置で、愛工大も「教員選考に関する規程」の一部改訂しました。助教授の職務規程が実態にそぐわない上、名称が国際的に通用していないというのが、中教審の「准教授」ポスト新設の理由です。

酒井教授に日本分析化学会賞

院生の谷口君 I E E E 支部学生奨励賞受賞

愛工大工学部応用化学科の酒井忠雄教授が発表した論文「機能性試薬を用いるフローインジェクション分析」がこのほど、日本分析化学会（小泉英明会長）の二〇〇六年度学会賞に選ばれました。今回の受賞は酒井教授ら三氏で、学会によると学会賞は、学会正会員で貴重な研究成果を論文などで発表した人の中から、特に優れた内容の研究に対して贈られます。

また、大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻一年・谷口謙悟君は、平成十八年度電気関係学会東海支部連合大会で発表した論文「天気図および十分

値気象データをを用いた風速変動予測」で I E E E (アイトリプルーイー) 電気電子学会) 名古屋支部の学生奨励賞を受賞しました。I E E E は、アメリカに本部を持つ電気・電子技術の学会で、米国最大の団体。

院生の貝沼君も電気学会論文賞

大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻二年・貝沼佳宏君も、電気関係学会東海支部連合大会で論文「マイクロ風力発電へ導入した極数変換型発電機の実験的検討」を発表、電気学会優秀論文発表賞 B 賞を受賞しました。

他大学単位互換履修生用に二科目開設

愛知学長懇話会（四年制四十九大学参加）の取りまとめによる単位互換講義で、愛知工業大学が平成十九年度に開設する「他大学単位互換履修生用科目」は下表の二科目と決まりました。愛知県内の四年制大学で学ぶ学生なら、誰でも単位取得が可能で、愛工大の

開設講義は前期、後期各一科目、単位はいずれも二単位、募集定員は若干名となっています。「マーケティング戦略」は二回の中間試験と定期試験、「情報通信網Ⅱ」はオンラインによる小テスト、期末テスト、レポートなどにより評価します。

◇他大学単位互換履修生用開設科目一覧◇

| 時期 | 履修条件 | 科目名 | 担当 | 開講時間 | 教室 |
|----|-------|------------|-----------------------|---------|-----------|
| 前期 | 3年生以上 | マーケティング戦略論 | 長谷川 博・経営情報科学部教授 | 火曜日 2時限 | 11号館401教室 |
| 後期 | 4年生 | 情報通信網Ⅱ | 中村 栄治・工学部助教授（4月から准教授） | 金曜日 2時限 | 8号館205教室 |

エココン・ソーラーカー部門で銅賞

山梨県が主催する平成18年度の「環境日本一エコエネルギーコンテスト」（昨年11月19日・甲府市「アイメッセ山梨」）で、エコカー部門に参加した愛工大工学部電力システム研究室の“A I T ・ P S - L a b”号（写真）が3位に入り、銅賞を獲得しました。太陽光は無尽蔵なエコエネルギーですが、夜間や天候など条件によって供給が大きく左右されるとい、不安定な要素もあわせ持っています。コンテストは、自作でしかも完全に自動化された太陽光発電による車（自律型ソーラーカー）を使い、全長15.6mのコース内に設けられた「朝日」「夕日」「曇り日」など、障害ゾーンをクリアしてゴールを目指すライン・トレース競技です。障害クリアのプログラミングが難しく、レース途中でストップする車が続出、出場17チームのうち完走は3台でした。



“絵の出る風車”がCVGC奨励賞に

大学生の豊かな感性とユニークなアイデアなどを活かし、事業化や起業家に挑戦していくベンチャー創出の手助けをしようと、キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）実行委員会などの共催で開かれた第4回CVG2006の中部地区大会（CVGC）で、愛工大から出品された2点が奨励賞と努力賞に選ばれました。

奨励賞に選ばれたのは、工学部電力システム工学研究科の「絵の出るLED風車」（写真①）＝環境・健康・福祉部門）。また、努力賞は環境適応ロボット研究科の「パイプ点検ロボット」（写真②）＝ニュービジネス部門）。「絵の出る風車」は、風車の回転とLED（発光ダイオード）の点滅制御により、風車の表面に“残像”として様々な文字や画像を表示します。愛知万博期間中、長久手会場に展示されてモリゾー・キッコロの画像を表示しました。また「パイプ点検ロボット」は災害時、土砂などに埋まった被災者を小さなすき間から発見して救助作業につなげるロボット。愛知万博でも紹介されており、最新型は垂直管の進入・探索もできます。





鉀徳館内の「会社コーナー」で説明を聞く学生たち

**大学鉀徳館の企業展に
延べ三千二百余人参加**
企業の人事担当者から直に話を聞き、大学生らに就職活動の参考にしてもらうと、学園の支援団体「学友会」の加盟四百八社が参加した「平成十九年学内企業展」が二月二十日と二十一日、大学の講堂兼体育館・鉀徳館で開かれました。
二日間とも午前と午後、部に分かれ、計四回で大学三年生を主体に大学院博士前期課程一年生、各設置校の学生ら延べ三千二百五十人が情報収集に精を出しました。一般企業の参加による学内企業展は三月六、七日、A I Tプラザ一階ホールで開かれる予定です。

19年度は26種31講座を開講

学生の資格取得とスキルアップを支援する大学エクステンションセンター平成19年度講座の日程、ガイダンス日などが、下表の通り決まりました。申し込み期間は「ガイダンス日の翌日」からで、最下段の日商簿記は「初回ガイダンスの翌日」です。

平成19年度エクステンション講座一覧

| 講座名 | 定員 | ガイダンス | 申し込み期 間 | 開講期間 | 開講日数 ・コマ数 | 受講料 |
|---------------------------|----|-----------------|------------|---------------|--------------|---------|
| 初級システムアドミニストレータ(秋季試験対策) | 60 | 4月23日 | ～5月24日 | 5月31日～10月18日 | 24日・54 | 40,000円 |
| 基本情報技術者(秋季試験対策) | 60 | 4月16日 | ～4月24日 | 4月26日～10月18日 | 27日・56 | 67,000円 |
| マルチメディア検定(2・3級) | 40 | 4月19日 | ～5月8日 | 5月15日～6月21日 | 12日・24 | 38,000円 |
| パソコン総合基礎(パソコン検定4級対策) | 30 | 4月18日 | ～5月2日 | 5月9日～6月1日 | 8日・16 | 14,000円 |
| MOS試験Word | 30 | 7月13日 | ～9月22日 | 9月29日～10月27日 | 4日・12 | 14,000円 |
| MOS試験Excel | 30 | 10月3日 | ～11月9日 | 11月17日～12月8日 | 4日・12 | 14,000円 |
| MCP(マイクロソフト認定技術者) | 10 | 6月13日 | ～7月23日 | 8月20日～8月28日 | 7日・28 | 65,000円 |
| TOEIC(前期) | 30 | 4月16日 | ～5月1日 | 5月8日～7月6日 | 18日・18 | 27,000円 |
| TOEIC(夏季集中) | 30 | 7月6日 | ～7月28日 | 8月20日～8月29日 | 8日・16 | 26,000円 |
| 工業英語検定(3級) | 30 | 7月17日 | ～9月21日 | 9月28日～11月9日 | 12日・24 | 27,000円 |
| CAD利用技術者試験2級(前期) | 80 | 4月20日 | ～5月11日 | 5月15日～6月15日 | 10日・20 | 30,000円 |
| CAD利用技術者試験2級(後期) | 80 | 7月17日 | ～9月29日 | 10月5日～11月16日 | 10日・20 | 30,000円 |
| CAD利用技術者試験1級(建築・前期) | 40 | 4月10日 | ～4月20日 | 4月23日～6月13日 | 15日・30 | 45,000円 |
| CAD利用技術者試験1級(機械・前期) | 40 | 4月10日 | ～4月21日 | 4月24日～6月15日 | 15日・30 | 45,000円 |
| CAD利用技術者試験1級(建築・後期) | 40 | 6月20日 | ～8月7日 | 9月3日～11月12日 | 15日・30 | 45,000円 |
| CAD利用技術者試験1級(機械・後期) | 40 | 6月20日 | ～8月7日 | 9月21日～11月16日 | 15日・30 | 45,000円 |
| 3次元CAD利用技術者試験 | 40 | 7月11日 | ～9月22日 | 9月28日～12月7日 | 18日・36 | 49,000円 |
| 宅地建物取引主任者・管理業務主任者W試験対策 | 50 | 4月17日 | ～5月10日 | 5月15日～11月28日 | 32日・70 | 81,000円 |
| 宅地建物取引主任者 | 50 | 4月17日 | ～5月10日 | 5月15日～10月16日 | 20日・46 | 54,000円 |
| 管理業務主任者(宅地建物取引主任者受験経験者対象) | 50 | 4月17日 | ～10月2日 | 10月23日～11月28日 | 12日・24 | 30,000円 |
| 2級建築士 | 50 | 6月14日 | ～9月20日 | 9月27日～12月4日 | 25日・48 | 30,000円 |
| 福祉住環境コーディネーター(2・3級) | 50 | 4月18日 | ～5月10日 | 5月18日～7月6日 | 15日・30 | 30,000円 |
| 色彩能力検定(2・3級) | 50 | 5月30日 | ～6月20日 | 6月27日～11月7日 | 10日・20 | 40,000円 |
| インテリアコーディネーター | 50 | 4月16日 | ～5月8日 | 5月14日～10月1日 | 28日・56 | 52,000円 |
| 電気主任技術者(第3種) | 50 | 4月13日 | ～4月25日 | 4月27日～7月27日 | 13日・26 | 25,000円 |
| 危険物取扱者(甲種) | 50 | 5月24日 | ～6月12日 | 6月19日～7月3日 | 5日・5 | 7,000円 |
| 危険物取扱者(乙種4類) | 50 | 7月10日 | ～9月20日 | 9月25日～10月4日 | 4日・4 | 6,000円 |
| CGエンジニア検定(2・3級) | 50 | 7月12日 | ～9月25日 | 10月2日～11月20日 | 12日・24 | 36,000円 |
| 公務員 | 50 | 4月25日 | ～5月23日 | 5月30日～3月19日 | 62日・134 | 90,000円 |
| ファイナンシャル・プランナー3級FP技能士 | 50 | 4月24日 | ～5月10日 | 5月15日～9月4日 | 16日・32 | 27,000円 |
| 日商簿記3級試験対策講座 | 50 | 4月27日・ 7月24日 | ～8月7日 | 9月21日～11月16日 | 15日・30 | 25,000円 |

高校部活は“学園表彰”ラッシュ

全国レベルの大会で活躍した愛工大名電高校の運動・文化関係クラブなどに対する学園表彰が、1月は4件に上り、高校校長室や多目的ホールで表彰式が行なわれました。

【吹奏楽部】第19回全日本マーチングコンテスト・パレードコンテストの部金賞（顧問：梶山宇一教諭・伊藤宏樹教諭、部員73人）

【情報学科情報デザインコース】第13回全国高校デザイン選手権文部科学大臣賞、第4回全国高校パソコンコンクール・デジタルコンテンツ部門グランプリ（指導教員：鳥居一平教諭・中山智明教諭、生徒：岡田陽介君・高山舞菜さん・中島宏美さん・谷幸一郎君）

☆1月9日午後2時30分から、高校2階多目的ホールで表彰式が行なわれました。吹奏楽部員と情報学科情報デザインコースの3人を前に、後藤淳・学園理事長がその活躍ぶりを讃えたあと、吹奏楽部の代表と情報デザインコースの3人に表彰状などを贈りました。

【ボウリング部】第13回全国高校対抗ボウリング選手権優勝（顧問：西三男教諭・中根文彦教諭、生徒：前田優作君・今野裕貴君）

【スキー部】第56回全国高校スキー大会に2選手出場（顧問：小島勉教諭・國廣祐子教諭）

☆1月23日午後零時30分すぎから、高校校長室で表彰式が行なわれました。後藤理事長が好成績を讃え、試合内容などについて質問したりしたあと、表彰状などを贈りました。



後藤理事長から表彰される情報学科の3人

スポーツ情報コーナー

長谷部投手がアジア大会“銀”を後藤学長に報告

カタールのドーハで開かれた第15回アジア競技大会野球競技（昨年11月29日～12月7日）で準優勝した日本チームの長谷部康平投手（経営情報科学部3年）が12月14日午後、奥田好弘・大学野球部監督とともに後藤泰之学長と会い、“銀”獲得の報告をしました＝写真。中部地区の大学からただ1人、日本チームのメンバーに選ばれた長谷部投手から銀メダルを見せられた後藤学長は、メダルを手にとって重さや大きさを確かめたあと、「金にもう少しの所までいったのに、残念でしたね」と、大会での日本チームの健闘ぶりを讃えました。



大会で日本チームは、1回戦 17-2 フィリピン、2回戦 10-7 韓国、3回戦 16-0 中国と勝ち進み、準決勝も 6-0 でタイに勝ちましたが、決勝はチャイニーズ・タイペイに 7-8 でサヨナラ負けを喫し、金メダル獲得はなりませんでした。長谷部投手は、フィリピン戦で3番手(1回)、韓国戦で2番手(3分の2回)としてマウンドにあがっています。

中部日本学生スキー選手権で愛工大が念願のV10

長野県白馬村の岩岳スキー場で開かれた第52回中部日本学生スキー選手権（1月22日～24日）で、愛工大チームは男子1部総合で念願の10連覇を果たしました。スーパー大回転で1～3位を独占、回転・大回転でも2～3位に入るなど層の厚さを見せつけ、アルペン3種目でポイントを稼いでV10を手にしました。愛工大選手の主な順位は次の通り（氏名のあとのカッコ内は学年）。



スーパー大回転優勝の稲垣選手

▽アルペン

【回転】（コース全長646^{メートル}、標高差158^{メートル}、最大斜度43.9度、旗門46）

②三浦健太郎（4）③丹羽紹元（4）⑤稲垣正織（3）⑥富田圭祐（2）

【大回転】（コース全長1192^{メートル}、標高差276^{メートル}、最大斜度43.9度、旗門34）

②稲垣正織③三浦健太郎⑤富田圭祐⑥此尾亮祐（2）

【スーパー大回転】（コース全長1192^{メートル}、標高差276^{メートル}、最大斜度43.9度、旗門23）

①稲垣正織②前田真和（1）③三浦健太郎⑥丹羽紹元

▽ノルディック

【リレー】（4×3^{キロメートル}）③愛工大《服部友貴・前田真和・鈴木友形（3）・金井素直（3）》

【クロスカントリー・10^{キロ}クラシカル】⑤服部友貴（2）

【クロスカントリー・10^{キロ}フリー】⑥服部友貴

【複合】⑤服部友貴

地域防災力向上の技術開発



文科省選定の大学研究プロジェクトが本格化
愛工大が文部科学省の採択、選定を受け産・官・学連携を進めている2つの研究プロジェクトがいよいよ本格化します。



次世代型電力供給システム

訓練成功で校内放送システム「オン」

平成16年度の「産学連携構想」に選定された「地震情報活用と防災拠点形成による地域防災力向上技術開発」では、拠点施設「愛工大地域防災研究センター」(センター長・正木和明都市環境学科教授)を中心に、愛知県三河・尾張地区の約40企業、50地点をネットワークで結び、気象庁の地震速報を活用した防災力向上のための研究が続いています。昨年12月14日には、全国の大学としてははじめての地震避難訓練が実施され、約3200人の学生・教職員らが参加(写真⑥)し、成果を収めました。これを受けてことし2月1日には、地震速報システムと大学内の防災放送システムが接続され、後藤泰之学長が放送用アンプのスイッチを「オン」にしました(写真⑦)。

緊急地震速報：気象庁が地震発生をキャッチすると、地域防災研究センターに震源とマグニチュード速報が送られてきます。この速報をセンター内のシステムが解析、大学所在地で“震度5弱”以上の揺れが予想された場合、ネットワークで結ばれた企業に情報を伝える一方、大学内ではサイレンや防災放送が自動的に起動します。

平成十八年度の「社会連携推進事業」に採択されたプロジェクト「マイクログリッド導入による次世代型電力供給システムの開発」(代表・一柳勝宏電気学科教授)では、関連施設の建設が順調に進んでおり、総合技術研究所前と食堂横に発電用風車が姿を現しました(写真⑧)。

これら四つの装置(計三十二基)と自家発電用施設、電力会社などの電力を、12号館内のサーバー室とコントロール室で制御・観察しながら安定供給に関するデータを集めることになっています。

総研前などに発電用の風車がお目見え



橋脚がセンターに運び込まれ、上や横から加わる力についてテストが繰り返されました。

愛工大耐震実験センターで昨年末、分割橋脚の強度テストが約一週間かけて行なわれました(写真)。名古屋高速に使用される大型橋脚(高さ三十メートル、直径七メートル、厚さ七十五センチ)を三分割し、運搬・組み立ての省力化と工事期間の短縮を図るのが目的です。五分の一に縮小して三分割された

高速道路用の大型橋脚強度をテスト

使い、附属図書館と12号館の電力を賄う計画です。また大学構内に給電用の「エコステーション」を設け、小型電気自動車(写真⑨)を使って給電システムの開発や運用に関する研究、データ収集などを行なうこととしています。

教育界にとって問題の大学全入時代「二〇〇七年」がいよいよ始まりました▼「おめでとう」の余裕などないのかも知れませんが、とりあえずちよつと遅めの「明けましておめでとうございませう」▼少子化、理工離れ、国立大学法人の頑張りといった状況の中で、私学のどんな対策が効果を上げていくのでしょうか▼現状を正しく分析し、将来を展望した中長期の対策を立てなければ、「存亡を懸けた」競争に勝つことはできません▼自分たちに都合のいい情報だけをもちに、どんな立派な対策を講じようと、所詮、落とし穴に落ちるだけです▼少子化で入試は、学校が学生・生徒を選ぶための手段でなく、学生・生徒が学校を選ぶものへと変質しつつあります▼教育力、研究力、指導力など、教育の「原点」に立ち帰って選ばれる学校を目指さねば、将来の展望は開けません▼六年間、本欄を担当した編集者はことし定年を迎え、三月末で退職し後任と交代します▼長年にわたるご愛読を感謝しつつ、ペンを置きます(柳)

編集後記